



## 特集 1 ICTを活用した取組の紹介

(北陸エリアにおける ICT – N – 1 )

### 市民と事業者、行政で創り上げる 氷見市ホームページリニューアルの取り組み（氷見市）

#### 【概要】

氷見市におけるホームページのリニューアルにあたっては、見えない未来に挑戦し、「日本一、市民にやさしい」「日本一、市民の声が反映される」「日本一、進化していく」の3つの日本一のホームページを創り上げるため、市民や団体に加え、ホームページ関係事業者からなる氷見市ホームページ検討委員会を設置し、ホームページに関わるさまざまな検討を行っています。

ホームページやSNS、その他の新たなツールを通じて、もっと分かりやすく、もっと楽しく、もっとたくさんの人が市政に参加できるICTを活用した仕組み作りに取り組むことにより、市民と行政がともに政策を創る未来が実現することを目指しています。

#### 1. これまでの取り組みについて

##### (1) 市民や団体、ホームページ関係事業者からなる委員会を設置



##### (2) 氷見市の課題

これまで氷見市では、さまざまな事業を実施する際には、担当者と導入する事業者のみで内容が決定されてしまい、実際に使用する市民の意見を取り入れることは少なかったように思います。

また、ホームページのような専門性が必要な分野について、市民の意見のみを取り入れると、実現が困難な夢だけで終わってしまうこと、または、最新の技術や傾向が分からぬいため、狭い視野での意見しか出てこないのでないかという心配がありました。

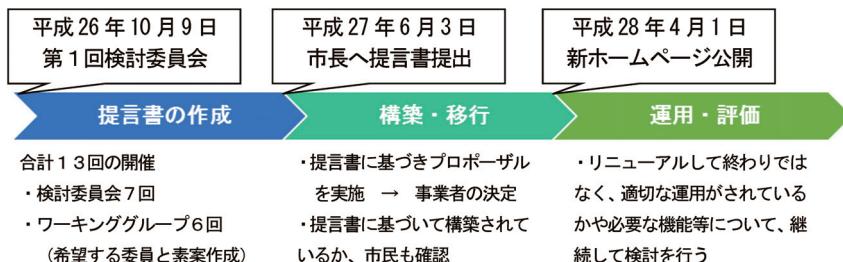
そのため、今回のリニューアルにあたっては、市民だけでなく、ホームページに関する事業者も氷見市ホームページ検討委員会の一委員として、また担当者も一緒にになってホームページに対する夢を語って形にしていくことで、担当者だけでは発想できない広がりを持つことに繋がりました。

##### (3) 委員会の規模

氷見市ホームページ検討委員会委員数：40名

内訳：市民・団体23名、ホームページ関係事業者17名（8社）

#### (4) スケジュールの概要



## 2. 提言された氷見市ホームページの目指す姿

検討委員会では約9ヶ月間に渡って検討を行った結果を、提言書として市長に提出しました。市では提言書に基づき仕様書を作成しました。このうち、氷見市のホームページの目指す姿について抜粋して紹介します。

### (1) 日本一、市民にやさしいホームページ

見やすく分かりやすいホームページにするとともに、ホームページを仮想の市役所と位置づけ、市役所に行かなくても必要な情報を入手することが可能な、日本一、市民にやさしいホームページを目指します。

### (2) 日本一、市民の声が反映されるホームページ

リニューアルにあたっては、市民が本当に必要としているものを聞き取りながら実施するとともに、今後は、ホームページやSNSによる市民とのコミュニケーションを通して、日本一、市民の声が反映されるホームページを目指します。

### (3) 日本一、進化していくホームページ

リニューアルを行うことで満足することなく、氷見市ホームページの目指す姿に向けて、リニューアル後も常に改善を重ねる、日本一、進化していくホームページを目指します。

## 3. まとめ

氷見市では、市民が必要とする、使ってみたいと感じられる、用が無くても見たくなるような、さまざまな情報が集まる居心地のよいホームページを目指しています。

これまで、検討委員会を通してホームページについて、市民はどう思っているのか、どうなって欲しいのか、事業者はどのような思いで導入しているのか、職員が置かれている状況や考え方などについて、それぞれの立場を越えて本音で話し合いました。

市民や事業者の後押しがあったからこそ、これまで縦割りであった市役所において、現在は横の視点で情報発信のあり方を検討するとともに、地方創生に繋がる新しいアイデアをいただくことができました。今回のリニューアルを新たなスタートとし、日本一、進化していくホームページを目指して実現していきます。

### [問い合わせ先]

- ・氷見市 市長政策・都市経営戦略部 秘書・市民情報課
- ・電話番号：0766-74-8012 FAX番号：0766-74-0692
- ・e-mail：hishoshimin@city.himi.lg.jp